

平成19年度 県立石下高等学校自己評価表

No.1

目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が主体である教育を主眼に、一人一人の生徒が楽しく安心して学べる学校、自己の夢の実現が図れる学校を目指す。</li> <li>教員が教育に意欲的に取り組める環境、生きがいのあるいい汗が流せる学校を目指す。</li> <li>学校・家庭・地域社会が一体となって教育活動が展開される開かれた学校を目指す。</li> </ul>				
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況		
1 分かる授業を展開する。授業研究等の充実を図る。	基礎学力の養成	分かる授業を展開するため、研究授業や公開授業等を行い研修に努める。TTや少人数指導等で、個性に応じた多様な学習方法を工夫・改善する。課外授業等補習を行い、生徒の能力を最大限に生かす指導を行う。	B		
2 頭髪服装指導が効果をあげつつある。さらに、指導の改善を図る。	基本的生活習慣の確立と生徒指導の充実	規則正しい生活リズムを確立させる。登下校時の生活指導等を通して、服装指導や交通安全指導に努める。規範意識や道徳心を高揚させ、問題行動等の未然防止と好ましい人間関係づくりに努める。生徒指導相談員やスクールカウンセラーとの連携による指導をさらに充実させる。	B		
3 キャリア教育や、インターンシップを通し、生徒の進路意識の向上に努めた。進路目標を具現化を図る。	進路指導の充実	キャリア教育等を通し、生徒の個に応じた進路目標の具現化を図る。コース別の指導を充実させる。ホームルーム等での継続した進路指導を実践する。インターンシップ等を推進する。	A		
	特別活動の推進	ホームルーム活動や部活動など集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。部活動の活性化を推進する。学校行事への積極的な参加を促す。	B		
	上郷高校との円滑な統合へ向けての諸準備	先進校視察等を通して新校設立のための情報収集に努める。各委員会を機能させて教育課程等、魅力ある新校づくりに努める。	A		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
教科指導	密度の濃い授業を展開する。	授業目標に沿った授業計画を授業時間ごとに立案する。授業終了後には指導内容を点検する等、次の授業に生かされる授業の改善に努める	B B	B	・変容する生徒の実態に対応した指導法・体制の構築。
教科 国語	指導内容や指導方法の工夫  個に応じた魅力ある授業を展開する。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。	A	B	・講師は常勤が望ましい。 ・生徒数減に伴い、漢字検定受験者が減り、学校受験が難しくなっている。
		生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身につけられるように、教材を工夫改善する。	A		
		担当者間の連絡を密にし、生徒の理解状況の把握や指導方法について検討する。	B		
		長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導(小論文・作文指導)等、個に応じた指導を行う。	A		
		漢字検定等の検定試験に対応した補習を行う。	B		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
教	地歴 公民	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画を作成し、授業進行の位置づけが明確にできたのはよかったが、4月当初に各科目の年間指導計画を教科会で検討する方がよかった。</li> <li>・成績不振者に対する補習は予定通りできたが、意欲旺盛な生徒に対する伸ばす指導については後手に回った。類型を中心に指導を充実させる必要がある。</li> <li>・少人数編成授業では、生徒の集中力が持続しないので、生徒を飽きさせない指導法が必要である。</li> <li>・成績不振者を出さないような指導、成績不振者に対する指導の検討が必要である。</li> </ul>
			生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身につけられるように、教材を工夫改善する。	B	
			資料・史料の活用や、発見学習の要素を取り入れる。	B	
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒の実態に応じて、少人数指導を行う等授業展開の工夫を図る。	B	
		長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。	B		
	数学	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	生徒の実態に応じて、教材を吟味し授業展開の工夫を図る。	A	
			例題や問題を多く出題する。	A	
			机間指導をする。	A	
		達成度に応じた魅力ある授業を展開する。	放課後や長期休業中に、進学課外や基礎課外を行う。	B	
		成績不振者を出さないよう、補習等を行う。	B		
	基本的学習能力を高める。	1年は少人数クラスによる授業を実施する。2,3年は基礎的な内容を扱う時間を設ける。	B		
科	理科	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。	B	
			生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身につけられるように、教材を工夫改善する。	B	
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒の実態に応じて、少人数指導を行う等授業展開の工夫を図る。	B	
			長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。	C	
	保健 体育	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。	B	
			生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身につけられるように、教材を工夫改善する。	B	
	多面的な角度から評価ができるように工夫する	C			
本校の教育方針にのっとる。	自主的な活動を促す授業展開を工夫する。	B			
	体育の授業(球技を中心に)においてコミュニケーション能力の育成を図る。	C			
	体育の授業において忍耐力を養う授業展開の工夫をする。	B			

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
教科	芸術	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業形態を発展させ学習活動を活性化させる。</li> <li>・授業内容を発表する機会を設ける。</li> </ul>
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身につけられるように、教材を工夫改善する。	A	
			生徒の実態に応じて、少人数指導を行う等授業展開の工夫を図る。	A	
			長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。	B	
	自己評価によって学習の軌跡を振り返る。	自己評価カードや創作ノート等を活用する。	B		
	外国語	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目ごとの目標や指導内容を明確にした授業を展開するよう工夫する。</li> <li>・基礎基本を身につけられるよう教材を工夫改善する。</li> </ul>
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身につけられるように、教材を工夫改善する。	B	
			教科会等を通し、担当者同士又は教科内で情報交換を行い、研修に努める。	B	
			生徒の実態に応じて、少人数指導を行う等授業展開の工夫を図る。	B	
	長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。	A			
	家庭	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科会等を通し、生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身につけられるように、教材や授業展開を工夫改善する。</li> <li>・学習の遅れている生徒に対して、クラス担任との情報交換を密にしながら補習を行う。</li> <li>・学習意欲が旺盛な生徒については、問題解決学習により発展・習熟させる。</li> <li>・実験・実習を多く取り入れ、生徒に興味・関心を持たせられるような指導を工夫する。</li> </ul>
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身につけられるように、教材を工夫改善する。	A	
生徒の実態に応じて、少人数指導を行う等授業展開の工夫を図る。			B		
長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。			B		
情報	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の授業で使用する課題の内容の吟味が必要。</li> <li>・生徒の作品データの保存方法の検討が必要。</li> <li>・チームティーチングの効果的な活用法を確立する。</li> </ul> <b>【要望事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の情報は、どの教科で担当するのでしょうか？。情報専任者が居た方が良いのでは？。</li> </ul>	
	個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身につけられるように、教材を工夫改善する。	B		
		授業への意欲が向上するような、工夫を図る。	C		
		長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。	C		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
教科	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。  個に応じた魅力ある授業を展開する。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後に実施しているワーク課外が後半きちっと実施せずにきてしまった。</li> <li>・簿記検定試験対策としての授業実施時期をもう少し早める。</li> <li>・検定合格率を上げる。</li> <li>・魅力ある授業および興味・関心が持てる授業の展開を目指すとともに生徒の意欲を引き出すための工夫をする。</li> <li>・評価方法に関して教員間の統一を一層徹底させる。</li> </ul>
		生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身につけられるように、教材を工夫改善する。	B		
		資格取得に力を入れた指導を展開する。	B		
		生徒の実態に応じて、少人数指導を行う等授業展開の工夫を図る。 長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。	B		
教務	基礎・基本の学力を養成する。	分かる授業を展開するため、9月に全教科で研究授業を実施し、検討会を設ける。教科指導法や授業内容を、全校体制で改善していく。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業を充実させ、基礎基本の学力養成の徹底を図る。</li> <li>・学校の教育活動や学校評価等をホームページ等を通して、積極的に公開し、開かれた学校づくりに努力する。</li> <li>・遅刻防止の対策として、日課表を変更し対応。</li> </ul>
		11月に保護者や地域の方々に対する公開授業を実施する。その際、アンケート調査を行い、結果を役立てる。	B		
	学習意欲の向上を図る。	夏・冬休みにそれぞれ3日間不振者課外を実施する。また増進課外も併せて行。	A		
		授業におけるIT活用を推進する。	C		
	家庭や地域社会との連携を密にする。また、外部に対する教育活動の公表に努める。	無断欠席・遅刻の防止を推進し、欠課時数オーバーによる退学者をなくするため、保護者との連絡を密に行う。	B		
		11月の公開授業時、年度末の学校評価の際に保護者や地域の方々へのアンケート調査を各項目で行い、結果を「学校だより」やホームページ等で公表する。	B		
	ホームページの内容を、学校行事等に応じて更新する。	A			

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
生徒指導	基本的生活慣の確立	日常生活リズムの確保。	HR, 授業, 登校指導を通しての日常的な生活指導。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の課題への取り組みを見直し, より効果が上がる方策を探求する。</li> <li>特に生徒理解をより一層深める意のために学年と一致団結して, 共通理解・情報交換に勤めたい。</li> </ul>
		自己の生活目標の設定。	月毎の学校生活目標の提示。	B	
		服装, 頭髪等の正常化。生活マナーの向上。	定期の集会, 検査, 不合格者の指導。	B	
	校内生徒指導体制の充実・強化	交通安全, 交通ルールの順守, 自転車, バイクの安全運転と管理。	集会での講話, 校外キャンペーン活動, HRでの指導や定期の安全検査の実施。啓発ちらしの配布	B	
		生徒理解を通して生徒の実態把握・問題行動や退学志向の未然防止事態への素早い対応。	面談や観察の重視, 情報の共有化, 学年の共同歩調。	B	
		クラス内生徒間の好ましい人間関係作りの工夫。	HR経営の研修, 各種アンケートの実施。	B	
		生徒の自主的活動を育てながらの生活改善の取り組み。	特活行事の工夫, 生徒参加の校外キャンペーンの実施, 自主的体験活動の実施。	A	
教育相談の校内体制の整備と機能化。	相談体制の広報, 相談チームの活性化。	B			
家庭, 中学校, 警察, 地域など校外関係機関との連携強化。	P T A関連行事の活用, 家庭訪問, 近隣中学校の訪問, 警察署との密接な交流。	B			
進路指導	個性の発見に努め, 自己の進路について, 進路ノート等を活用しながら目的意識を喚起させる。	全学年とも進路手引きを活用し, 計画的にHRの時間を有効に使う。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路手引きの活用, 模擬面接はできるだけ多く実施し, 全職員が対応できるシステムの確立。</li> <li>進路に関してのHRの活用時間をより多く実施すべきである。</li> <li>服装・ことばづかい等, 事前指導を徹底して行うべきである。</li> <li>実践的なビジネスマナーを身につけさせ意識の高揚を図る。コンピューターを利用して上級学校・企業等の検索をHRの時間・総合学習の時間で実践したい。</li> </ul>	
		講演会・講座実施後にその感想を文章で書かせ, 自分の進路希望を明確にさせる。	B		
		基礎学力の向上を図り, 進路実現を目指す。	B		
	インターンシップ・体験進路についての知識を深めさせ, 正しい職業観・進路意識の確立を図る。	進路講演会の実施(各学年)	B		
		資格取得講座実施(2学年)	B		
		今年度も2学年全員を対象にインターンシップを実施して正しい職業観・進路意識の高揚を図る。	A		
		進路希望調査実施	B		
個々の生徒の能力と適性に応じた進路の選択と決定に努める。	進路ガイダンス実施	B			
	コンピューターによる進路検索	B			

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
保健厚生	校舎内外の環境整備と美化に努める。 生徒の健康と管理の徹底を図る。 防災活動の推進	清掃の徹底	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃分担区の見直し。</li> <li>・定期健康診断の事後処置の徹底。</li> </ul>
		奉仕作業の実施	A	
		定期健康診断	B	
		保健講演会	A	
		応急手当講習会	B	
渉外	P T A 行事の企画の適正化に努める。 P T A 活動を通して、家庭と学校との連携を密にし、行事への参加を促す。	生徒の自己実現を助ける P T A 活動を企画する。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会等の出席率を高める。</li> <li>・家庭との連携強化を図る。</li> </ul>
		家庭における教育力を高める P T A 活動を企画する。	B	
		生徒の健全育成を目指し、親として自ら学ぶ態度を育成する。	B	
		教育諸機関・地域社会に向けて積極的に行動する提案型の組織活動を確立していく。	B	
		P T A 会報による広報を充実させる。	A	
図書	読書意欲の向上を図る。 図書・資料の充実を図る。 図書館・視聴覚室の利用を促進する。 図書管理のシステム化。	朝の読書の工夫。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示物等、広報を工夫する。</li> <li>・生徒対象行事を充実させる。</li> <li>・図書の O A 化について検討する。</li> <li>・図書委員の活動を充実させる。</li> </ul>
		多読者の表彰。読書奨励賞。	A	
		購入希望図書の調査。リクエスト図書随時受け付け。	B	
		購入図書の広報、本の情報を掲示・展示。	A	
		授業に必要な図書・視聴覚資料の購入。	A	
特活	H R ・生徒会活動・学校行事を通して、心身の調和と個性の伸長を図り、自覚と協力によって、自主的でしかも実践的な人間形成に努める。 リーダーシップの養成に努め、集団規律・団体行動の厳正さを理解させる。	授業に必要な図書・視聴覚資料の購入。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1, 2 学期に学校行事が重なるため各分掌、各学年と連携を図り準備、計画、実行と怠らないようにする。</li> <li>・H R の活性化を図るための準備、計画を立てる。</li> </ul>
		生徒向けの行事、映画会等を行い、図書を身近なものと意識させる。	B	
		図書貸し出し等の O A 化。	B	
		書架を見やすく整理する。	A	
		行事内容の検討をする。	A	
第1学年	基礎学力の育成を図る。 基本的生活習慣の確立を目指す。 部活動を推奨する。 進路指導の充実を図る。	H R の年間計画の作成。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の確立をするため、各 H R 担任と連携を図り、特に欠席を減少させる。</li> <li>・基礎学力を向上させるため、教科においても、時事問題などを積極的に取り込む。</li> <li>・進路実現に向けての意識の高揚を図る。</li> <li>・指導の結果、頭髪は良くなってきたが、きちんとした服装はまだ、定着させられない。</li> <li>・部活動加入率は3割で、目標より少ない。</li> </ul>
		生徒会活動の活性化を図る。	A	
		H R 活動を通して、役割分担を明確にして責任感を持たせる。	B	
		学校行事等での企画、準備・運営においてのリーダーの育成。	B	
		就職試験の一般常識問題にも対応できるような国語、数学、英語の実力をつける。	A	
		挨拶の習慣化と遅刻・欠席・早退の減少を図る。	B	
		きちんとした頭髪・服装で生活させる。	B	
		全員に部活動加入を勧め、5割以上の生徒を加入させる。	C	
		オリエンテーション等活用し、早めに進路を決定させる。	B	

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
第2学年	基本的生活習慣を目指す。	規則的な生活習慣の定着化と、挨拶の習慣化、遅刻・欠席・早退の減少を図る。	D	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科担当者から担任へ生徒の授業の取り組みの様子を報告しやすい環境を整える。</li> <li>・基本的生活を定着させる。</li> <li>・国・数・英の基礎学力に努める。</li> </ul>
		生徒との信頼関係を保ちながら、頭髮服装指導を恒常的に行う。	B		
	基礎学力の向上を図る。	教科担当者と担任との連絡を密にして、より良い授業を目指す。	C		
		夏期講習・増進課外を実施する。	B		
		学期末毎の不振者課外を工夫する。	B		
	進路目標の確立を目指す。	インターンシップを通じての職業観の育成を図る。	C		
		個別面談の工夫と活用を図る。	C		
進路講演会・ガイダンスを実施する。		C			
	類型における学習合宿・校外模試の実施。	B			
	LHRにおける進路教育を充実する。	C			
3学年	最終学年として、高卒にふさわしい学力の「定着」を図る。	授業は学校生活の基本。授業を大切にして、進路を見据えた学力向上を図る。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部との協力・連携体制が出来ており、ほとんどの生徒の進路が決定できた。</li> <li>・謹慎指導等、頭髮、服装指導においても生徒指導部との連携によりスムーズにできた。</li> <li>・校内諸規定の見直しが必要と思われる。</li> </ul>
		LHRや総合的な学習の時間を利用して、就職・進学に必要な学力をつける。	B		
	学習・生活習慣を確立させ、各々の進路を定め、その目的を実現する準備・対策をとる。	面接や個別指導を通して、個々の生徒に応じた進路指導を行う。	B		
		会社・専門学校・大学等の積極的な見学を勧め、早めに進路先を決定させる。	B		
	基本的生活習慣を確立し集団生活ルール、社会人として自立するためのマナー・エチケットを身につけさせる。	進路実現のためにも、欠席・遅刻・早退を少なくする。	B		
		頭髮や制服について、きめ細かな指導を行う。	B		
	家庭生活においても、自律・自立できるよう保護者と連携しながら指導する。	B			

評価基準 A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない